誰もが いつまでも 住み続けたい 魅力あるまちに！

玉川学園・南大谷地区協議会 ニュース

Vol.30 （創刊三十号）2026.11
発行&発行責任者：玉川学園・南大谷地区協議会
代表 田代　敏行

玉川学園・南大谷地区協議会に参加している各構成団体の活動や事業をご紹介いたします。地域の皆さまが日頃どのような取り組みを進めているのかを知っていただくことで、より身近に感じていただければ幸いです。
今回のニュースでは、すでに実施された行事の報告に加え、これから予定されているイベントについてもご案内いたします。ぜひ関心のあるものがございましたらご参加ください。

事業紹介

はなびら市・さくらめぐり





玉川学園に桜が咲き始めるころの恒例行事といえば、
３丁目子ども広場の「はなびら市・さくらめぐり」です。
玉川学園町内会２丁目のメンバーが中心となって、広場でお団子を焼き、あたりいっぱいに香ばしいお醤油のにおいが広がります。ここ数年は尾根沿いの桜の木をめぐりながら、「きんじょの本棚」横のスタンプを押すスタンプラリーもすっかり恒例に。スタンプを集めたらお団子がもらえるルールで、毎年200本のお団子が２時間でなくなるほどの盛況ぶりです。
広場では、着物姿の子どもたちによるお茶会体験、町５小の玉川少年剣道育成会による剣道体験、ダンス発表会、ご近所みちあそび、ほかにもお弁当やジャム、植物、雑貨、ハンドメイドの布小物、アクセサリーの販売など、数々のマルシェがにぎやかに並びます。

はなびら市は2010年にスタート。当初は玉川学園北口商店会との共催で、北口商店街や駅と学校法人玉川学園の間の桜並木スペースで開催したこともありました。桜が咲く春先は雨や強風のことも多く、毎年開催前は、無事にイベント開催ができるのかドキドキです。あまりの寒さにコートを羽織った年もありました。2026年の16回はなびら市は朝から晴天。こんなに安心してはなびら市を迎えられたのは初めてかもしれません。じつは第１回からイベントを率いてくださった２丁目の篠原佑さんが、この1月に逝去されました。きっと篠原さんが3月のはなびら市を思いっきり晴天にして下さったのだと思っています。篠原さんがもういない、というのはとてもさみしく心細いですが、今後は新代表をつとめてくださる渕さんとともに、玉川学園地域をますます楽しく盛り上げていきたいと思っています。**2027年のはなびら市は３月２７日（土）の予定（雨天の場合３月２８日（日）に順延）です。**ぜひ次回のはなびら市・さくらめぐりに足をお運びください。

担当：はなびら市実行委員会コーディネーター　うのつのぶこ

町田第五小学校「馬頭琴演奏を聴いてモンゴル遊牧文化について学ぼう」



場所:町田第五小学校　日時:2027年2月8日(月)
国語の授業で学ぶ「スーホの白い馬」に出てくる馬頭琴の演奏を実際に聴き、遊牧民文化についても学びます。

担当：町田第五小にて馬頭琴体験　山内亜佐子

玉川学園・南大谷地区協議会
二世代、三世代に渡る人、明日引っ越してくる人も
住民みんなで創る玉川学園・南大谷のまちづくり・・
このまちは、人が宝です

子ども食堂・居場所カフェ



冒険遊び場＆子ども食堂　おむすび
開催日：毎月第1土曜日（10:00～14:00）
場所：町田市玉川学園6-3（なかよし公園）
参加費：ご寄付
形式：会食形式（おにぎりとスープを作っています）
活動内容：地域で子どもが健やかに育つ街を目指して、自然の場で思いっきり遊べる場と子ども食堂を開いております。地域の大人と子どもが一緒に料理を作り、幼児から大学生まで一緒に遊び、大きな家族のようなつながりが生まれることを願って活動しています。食を通じたつながりとして、子ども家庭症の食糧支援事業を委託し、2027年1月までに食料支援を実施しています。



おむすびカフェ（多世代居場所づくり）
開催頻度：月1回　開催日は公式LINEに掲載
場所：ジャジャハウス（町田市玉川学園）
目的：多世代が安心して集える居場所
参加費：大人500円　子ども100円　幼児無料
活動内容：地域の中に、人の温かさや、ほっとできる場所を作ることを目指しています。具だくさんみそ汁と副菜の提供、おにぎりは自分でにぎります！地域の人々が世代を超えて、遊び・食・対話を通じて交流し、みんなで食べて、みんなで心地よく過ごせる場所です。

担当：子ども食堂・居場所カフェ　金井玲奈

玉ちゃんサービス





高齢化がどんどん進んでいます。その中で私たちの団体は日常のちょっとしたお困り事をお手伝いする有償ボランティア「玉ちゃんサービス」と言います。「人生、お互いさま！」をモットーに活動し、今年２０２６年「満10周年」を迎えました。
立ち上げから10年も経つと困り事の内容も少しづつ変化してきたと最近実感しています。 その一つに「介護保険制度の壁」が有りますが【介護保険制度では出来そうな仕事だけど実は対応が出来ない仕事がたくさん有ります】。例えば「カーテンの付け替え」「お庭の雑草取り」がそうです。
頼めると思ってヘルパーさんに頼むと「ダメ、出来ない」と言われます。【こんなに簡単なことなのに、どうして対応できないの】ととまどうことがあります。「福祉のことなのにどうして？」、「誰でもが快適な環境のもとで暮らしたいと望むのにどうして？」とチョッと心が折れますよね。

でも、こんな時が玉ちゃんサービスの出番です。介護保険では対応しきれないお悩みごともお任せください。誰にも頼れず困った時には 「お隣どうし、お互いさま！」の精神でお手伝いしていますので、お声掛けください。高齢者の方だけでなく、子育て中のお母さんや、ケガで外出が困難な方の通院付き添いなどにも、身近な頼り先として寄り添います。誰にも頼れず困った時は、どうぞお声掛けください！
また、地域を支える活動仲間も同時に募集していますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ】
玉川学園地区社会福祉協議会：042-810-2026／玉ちゃんサービス電話：080-2149-1757
メール：mtgshakyo@gmail.com （担当：福田）
地区社協/ボランティアセンターHP：
https://tama-gaku.sakura.ne.jp/volunteer/group/29

担当：玉ちゃんサービス　福田修一

お問い合わせ



玉川学園・南大谷地区協議会事務局 TEL 042-724-2783
（町田市役所市民協働推進課）
玉川学園・南大谷地区協議会のホームページ
https://tgmotikukyougikai.blogspot.jp
代表 田代敏行 toshi_0427tashiro_gakuen0609@yahoo.ne.jp
事務局長 翁真由美 tgmo.tikukyougikai@gmail.com

地域ケア会議＋南大谷フェスタ



災害時に助け合える地域にしたいという共通の想いから、2022年に南大谷町内会、南大谷団地自治会、南大谷子どもクラブMOこもこ、町田第3高齢者支援センターで実行委員会を立ち上げました。顔の見える関係づくり（多世代交流）を目指し今年で5回目です。各団体の得意分野を持ち寄り、多世代の方が楽しめる内容で開催します。このイベントをきっかけに、みんなが気軽に声をかけ合える町になることを期待しています。

【南大谷フェスタ2026】
子どもも大人もみんな　なかよく暮らせる町に
日時：11月7日（土）11:00～15:00 ※雨天は内容を縮小して開催
会場：都営南大谷団地4号棟広場・南大谷子どもクラブ MOこもこ
内容：
- 健康づくり：骨ウェーブ・肌水分計・InBodyなど使った健康チェック
- あんしんキーホルダー登録会：町田市在住65歳以上、登録料200円
- 昔遊び・ゲーム・工作：けん玉、ボッチャ、箸タイム、輪投げ、鳴子づくりなど
よさこいのステージもあります。
- フリーマーケット、豚汁販売（150円）、地元野菜の販売
- 防災教室：AR、恩田川で放水体験、消防車展示、起震体験車、アルファ化米試食

担当：南大谷多世代交流イベント　三澤よし子

たけのこ・なかまづくり





ころころ児童館と玉川学園町内会の協賛を頂いて、七夕祭り・七夕盆踊りを下記にて開催しました。

1. 日時：令和8年7月7日（土）
2. 場所：**3丁目こども広場**
3. 内容：

七夕祭り（午後４時～5時10分）
午後４時集合：短冊に願い事を書き竹にくくりつけ4時30分時から七夕の唄をみんなで歌い、その後短冊をつけた竹を載せたおみこしを、子供たちが担いで歩きました。お子様６～8名でおみこしを担ぎ（安全のため大人が補助）のべ5回子供広場の中央を練り歩きました。

七夕盆踊り（午後5時２０分～６時５０分）
お子様向けにお馬の親子、炭坑節、サザエさんなどから始まり地元の玉川音頭・町田音頭の盆踊りもしました。
参加者からは覚えやすい踊りで良かったですとのお言葉を頂きました。昨年に引き続き2回目の開催で総勢約50名の参加で好評でしたので、是非来年も実施したいと思います。

担当：たけのこ・なかまづくり　富樫靖一郎